



HOUSE FOODS GROUP REPORT



株主のみなさまへ — 第68期 営業のご報告 —

2013年4月1日～2014年3月31日





株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年3月期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

ハウス食品グループ本社 取締役社長

浦上 博史

海外事業の伸長や連結対象会社の増加などから増収となりましたが、成熟市場における競争激化により、国内コア2事業の収益力がダウンし、営業利益は減益となりました。

当連結会計年度における経営環境は、各種政策効果が下支えするなか、株式市場の好転や行き過ぎた円高の是正により輸出産業を中心とした企業業績の回復基調が鮮明になる一方、内需産業である食品業界におきましては、期末にかけて消費税増税に伴う駆け込み需要が一部で発生したものの、全体では円安による原材料・燃料コストの上昇や、生活防衛意識の高まりを背景とした消費動向の不透明感など、予断を許さない経営環境が続きました。

このような環境下におきまして、当社グループは創業100周年の節目を迎える当連結会計年度を次の100年に向けた変革の年と位置づけ、各事業が成長戦略を描くための最適な組織体制を構築すべく昨年10月に持株会社体制に移行し、前連結会計年度からスタートした第四次中期計画で掲げる「国内コア事業の収益力強化および海外コア育成事業の展開加速」「開発力・コスト競争力の強化推進」に向けた取組を進めてまいりました。

売上面につきましては、海外事業の伸長や連結対象会社の増加に加え、駆け込み需要の影響もあり、健康食品事業の減収を吸収した結果、当連結会計年度における連結売上高は2,326億10百万円、前期比10.9%の増収となりました。

一方、利益面につきましては、国内市場成熟による競争激化により、収益の柱である香辛・調味加工食品事業、健康食品事業が減益となったことや、海外事業へのマーケティングコスト先行投下、持株会社体制移行や100周年事業に伴う今期特有の一時的なコスト発生により、連結営業利益は95億89百万円、前期比16.2%の減益となりました。連結経常利益は109億62百万円、前期比18.5%の減益、連結当期純利益は、特別利益が大幅に増加しましたことから87億92百万円、前期比6.5%の増益となりました。

期末配当は、創業100周年記念配当を含め1株当たり20円といたしました。決算発表に併せて自己株式の取得を発表し、実施しております。

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要なテーマの一つと位置づけ、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに、業績・事業計画などを総合的に勘案し、連結配当性向30%以上を基準とした安定的な配当を継続することを基本方針としております。

当期末の配当につきましては、1株当たり15円の普通配当に創業100周年記念配当5円を加え、1株につき20円とさせていただきます。年間では、中間配当15円と合わせて、1株当たり35円としております。

なお、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主還元の一環として、決算発表翌日の5月9日より300万株の自己株式取得を実施しております。

新しい価値の創造に向けた取組を一層進めてまいります。

2015年3月期においては、海外景気の下振れや、消費税増税に伴う消費減速懸念など、依然不透明な状況が続くものと思われまます。

当社グループにおきましては、このような状況のなか、昨年10月に新たに定めたグループ理念“食を通じて人とつながり、笑顔ある暮らしを共に作るグッドパートナーをめざします”のもと、より良き企業市民としての責任を果たすべく、「安心・安全」「コンプライアンス」への取組をさらに強化するとともに、新しい価値の創造に向けた取組を一層進めてまいります。

国内においては、成熟市場のなか、原材料・エネルギーコストの上昇も想定され、今後も厳しい環境が続くものと見込まれますが、香辛・調味加工食品事業と健康食品事業の2つのコア事業のブランド価値とコスト競争力をさらに高めるとともに、新しい需要の創造に向け、事業視点での研究開発や事業開発に積極的に取り組み、収益力の強化に努めてまいります。

コア育成事業である海外事業においては、3つのエリア（米国・中国・東南アジア）ごとに独立した事業推進体制のもと、事業展開をさらに加速させてまいります。

2015年3月期の業績につきましては、連結売上高は2,380億円（前期比+2.3%）、連結営業利益は115億円（前期比+19.9%）、連結経常利益は129億円（前期比+17.7%）、連結当期純利益は85億円（前期比△3.3%）を予定しております。

何卒株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

グループ理念

食を通じて人とつながり、
笑顔ある暮らしを共に作る
グッドパートナーをめざします。

時代によって食のカタチが変化しても、
変わらない食のチカラがあります。
食のチカラは、人を育み、人をつなぎ、人を笑顔にします。

私たちハウス食品グループは、
食を通じておいしさと健康をお届けし、
人とつながり、人と人をつなげたい。
絆やぬくもりを大切にして、
すべてのステークホルダーと共に
笑顔ある暮らしをつくりたい。

常に新しい価値を創造しながら。

家庭の食卓はもちろん、外での食事、さらに世界でも。
食に関わるすべてのシーンへ。

お客さまの笑顔を、
社員とその家族の笑顔を、
そして笑顔あふれる社会を
共に作るグッドパートナーをめざします。

創業理念

日本中の家庭が幸福であり、
そこにはいつも温かい
家庭の味ハウスがある。
～幸せな家庭のマーク～

香辛・調味加工食品事業

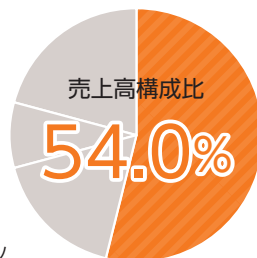
売上高 **1,255** 億円(前期比101.3%) | 営業利益 **69.4** 億円(前期比85.0%)

ルウ製品は、本年2月に生産ラインの再編成を行うとともに主力製品のリニューアルを行い、ブランド価値とコスト競争力を高めるための取組を進めております。

レトルト製品は、発売2年目になる中価格帯の「ザ・ホテル・カレー」が引き続きお客さまのご支持をいただきましたほか、スパイス製品も取扱拡大に向けた営業活動が一定の成果をあげております。また、時短・簡便調理などのお客

さまニーズを捉えた新製品の「三ツ星食感」シリーズなどがご好評をいただきました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は前期比1.3%の増収となりました。利益面では、原材料価格の上昇に加え、マーケティングコストの増加や、今期特有の一時的なコストの発生などもあり、営業利益は前期比15.0%の減益となりました。



新製品

「フルーチェ 〈贅沢イチゴ〉〈贅沢ピーチ〉」

牛乳を入れて混ぜるだけでぷるぷるとした食感が楽しめる、人気のデザートベース「フルーチェ」の新アイテムとして、従来のフルーチェに比べて果肉を増量した新アイテム〈贅沢イチゴ〉〈贅沢ピーチ〉を新発売しました。

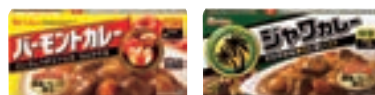
甘さひかえめで、濃厚なフルーツの香りと味わいが贅沢な、大人も満足できるフルーチェです。



●フルーチェ〈贅沢イチゴ〉
従来の〈イチゴ〉と比べ、1人分あたり2倍の果肉を使用。さらに、イチゴとラズベリーのピューレを加え、贅沢に仕立てました。



●フルーチェ〈贅沢ピーチ〉
従来の〈ミックスピーチ〉と比べ、1人分あたり2倍の果肉を使用。さらに、ピーチとアプリコットの果汁を加え、贅沢に仕立てました。



健康食品事業

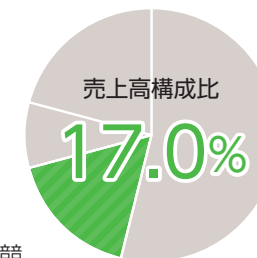
売上高 **395** 億円(前期比92.4%) | 営業利益 **15.9** 億円(前期比83.3%)

持株会社体制移行に伴い、従来2社で展開しておりました健康食品事業をハウスウェルネスフーズ(株)に統合し、事業展開力を一層強化する体制を整備いたしました。

これまで市場を創出・牽引してまいりました「ウコンの力」は、他社製品との競合が激化し、シェアを落とす結果となりました。一方、育成ブランド「メガシャキ」は、需要期に応じた販売促進活動が奏功し、販売規模を拡大しております。

「C1000」シリーズは、激しい競争環境のなか、瓶製品「ビタミンレモン」が取扱いを拡大し堅調な推移となりましたが、PET飲料「レモンウォーター」が苦戦し、全体では減収となりました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は前期比7.6%の減収、営業利益は前期比16.7%の減益となりました。



新製品

「SAMURIDE ENERGY DRINK」

日本をコンセプトに、独自の世界観を表現したドリンク製品「SAMURIDE ENERGY DRINK」(サムライド エナジードリンク)を新発売し、現在大きく成長しているエナジードリンク市場に新たに参入しました。

日本人が古来、使用してきたといわれる素材「八角・棗(なつめ)・生姜・高麗人参・ウコギ」を使用。当社グループの強みであるスパイスの風味を活かしたおいしさが特長です。「墨絵」仕様で「和」を表現したパッケージにも注目です。

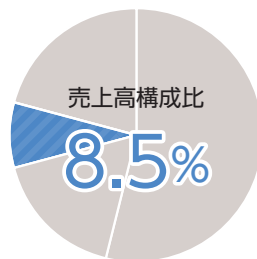


テレビCMに俳優の玉山鉄二さんを起用

海外事業

売上高 **197** 億円(前期比134.2%)

営業利益 **6.2** 億円(前期比91.2%)



米国豆腐事業は、市場の拡大による事業伸長に加え、昨年10月に行った価格改定が下期の利益押し上げ要因となりましたが、上期の大豆価格高騰の影響が大きく、通期では増収減益となりました。

前期に黒字化した中国カレー事業は、新規エリアおよび新規企業での取扱い拡大とコストダウンによる損益構造の改善が進み、増収増益となりました。また、事業統括会社であるハウス食品（中国）投資社を昨年11月に設立しており、今後事業成長をさらに加速してまいります。

カレーレストラン事業は、今後の拡大が見込める中国に

おいて、上海に加え華北（北京）・華南（広州）に管理会社を設立し、店舗展開の加速に向けたエリア毎の体制を整備いたしました。

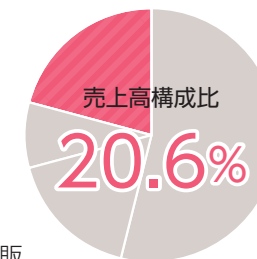
東南アジアでは、前期に事業を開始したタイのビタミン機能飲料事業が、バラエティ製品の発売などにより売上を伸長いたしましたことに加え、今期はベトナムでホームメイドデザート事業を立ち上げております。

以上の結果、海外事業の売上高は前期比34.2%の増収、営業利益は前期比8.8%の減益となりました。

その他食品関連事業

売上高 **478** 億円(前期比168.2%)

営業利益 **4.5** 億円(前期比64.4%)



運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、グループ外企業の物流業務の受託拡大に取り組みましたが、備車コストの上昇により減益となりました。加えて、コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフも、中食需要の拡大を受け増収となりましたものの、お客さまの嗜好多様化に対応した供給体制の整備に伴うコスト増により、減益となっております。

※従来「運送事業他」と表示していたセグメントを、当連結会計年度より「その他食品関連事業」に名称変更しております。

また、昨年5月に食材の輸入・販売等を営む(株)ヴォークス・トレーディングの株式を追加取得し、新たに連結対象としたことが当セグメントの増収要因となっております。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は前期比68.2%の増収、営業利益は前期比35.6%の減益となりました。

東南アジア

～順調に拡大 タイビタミン機能飲料事業～

当社が60%を出資しているタイの合併会社「ハウスオソサファーズ社」において、2012年7月より展開している「C-vitt」が、お客さまから好評をいただいております。昨年9月にはバラエティ製品を追加投入し、テレビCMも展開するなど、ブランドの定着とお客さま接点の一層の拡大に注力しております。



トピックス Topics

ルウカレー3ブランドに「濃縮ブレンド製法」を採用

「バーモントカレー」「ジャワカレー」「インドカレー」に、使用する油脂量を減らしながら、おいしさを凝縮して加熱・ブレンドする「濃縮ブレンド製法」を採用しました。さらに、残ったルウをすっきりしまえるよう、パッケージ仕様も変更。ハウスのルウカレーが、もっとおいしく、もっと使いやすくなりました。

(ルウの製造に)使用している油脂量をひかえて
おいしさギュッと濃縮

原材料を見直し
ブランドらしさを
ひきたてるブレンド

おいしさをひきたたせる
濃縮ブレンド製法



残ったルウをコンパクトにしまえる!

一度に全て使い切らないお客さまの使い勝手の向上のため、パッケージを改良しました。

- 1 この部分がフタに変身!
- 2 内側に折る
- 3 フタをする
- 4 コンパクト!



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 (2014年3月31日現在)	前期 (2013年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	117,551	107,135
固定資産	155,817	143,645
有形固定資産	62,534	56,112
無形固定資産	3,482	1,787
投資その他の資産	89,802	85,746
資産合計	273,368	250,780
負債の部		
流動負債	49,230	39,515
固定負債	14,041	11,938
負債合計	63,272	51,452
純資産の部		
株主資本	194,579	188,963
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	160,767	155,148
自己株式	△ 4	△ 1
その他の包括利益累計額	14,222	9,768
その他有価証券評価差額金	11,665	10,840
繰延ヘッジ損益	△ 5	—
為替換算調整勘定	1,053	△ 1,072
退職給付に係る調整累計額	1,509	—
少数株主持分	1,296	596
純資産合計	210,097	199,328
負債純資産合計	273,368	250,780

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 (2013年4月～ 2014年3月)	前期 (2012年4月～ 2013年3月)
売上高	232,610	209,784
売上原価	135,080	114,468
売上総利益	97,530	95,315
販売費及び一般管理費	87,942	83,874
営業利益	9,589	11,441
営業外収益	2,287	2,096
営業外費用	913	92
経常利益	10,962	13,445
特別利益	3,240	49
特別損失	778	256
税金等調整前当期純利益	13,424	13,238
法人税等	4,559	4,999
少数株主利益又は少数株主損失(△)	74	△ 16
当期純利益	8,792	8,254

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

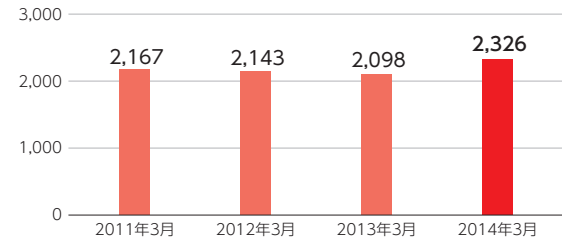
	当期 (2013年4月～ 2014年3月)	前期 (2012年4月～ 2013年3月)
営業活動によるキャッシュ・フロー (うち減価償却費)	8,818 (5,056)	12,884 (5,020)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,471	△ 1,841
財務活動によるキャッシュ・フロー (うち配当金の支払額)	△ 68 (△ 3,171)	△ 4,943 (△ 3,186)
現金及び現金同等物に係る換算差額	593	424
現金及び現金同等物の増減額	1,871	6,525
現金及び現金同等物の期首残高	47,715	41,190
現金及び現金同等物の期末残高	49,586	47,715

業績推移

Transition of Achievements

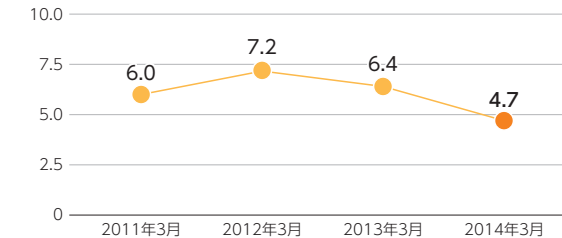
連結売上高

(単位：億円)



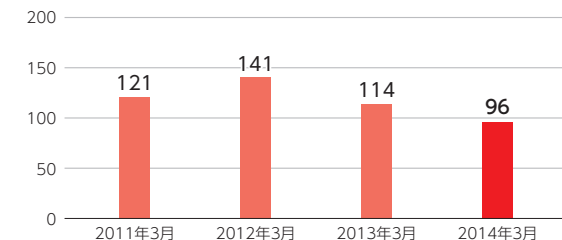
売上高経常利益率

(単位：%)



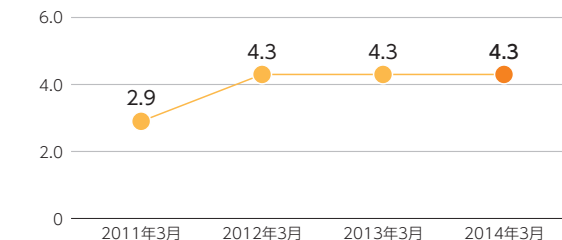
連結営業利益

(単位：億円)



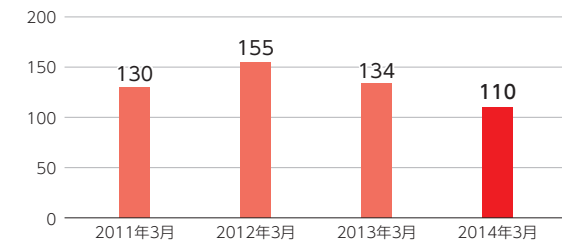
ROE(自己資本当期純利益率)

(単位：%)



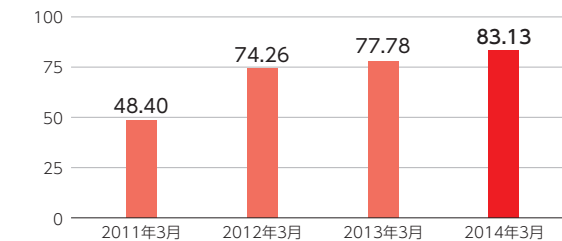
連結経常利益

(単位：億円)



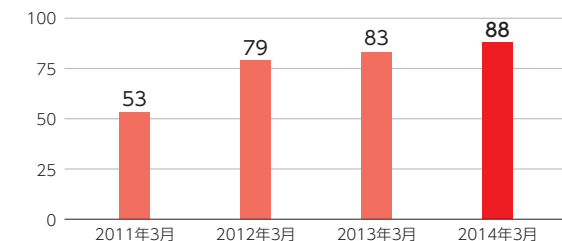
1株当たり当期純利益

(単位：円)

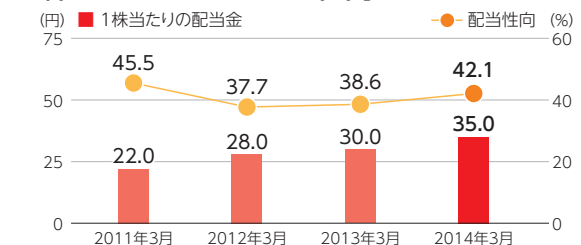


連結当期純利益

(単位：億円)



1株当たり配当金・配当性向



●会社概要 (2014年3月31日現在)

創業年月日 1913年11月11日
 設立年月日 1947年6月7日
 資本金 9,948,323,523円
 事業内容 グループ戦略立案、事業会社(国内・海外)への経営サポートならびに国際事業統括
 従業員数 213名(連結:5,276名)
 所在地 ●大阪本社
 〒577-8520
 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
 TEL 06-6788-1231(大代表)
 ●東京本社
 〒102-8560
 東京都千代田区紀尾井町6番3号
 TEL 03-3264-1231(大代表)

●役員 (2014年6月26日現在)

代表取締役社長 浦上 博史
 代表取締役専務 松本 恵司
 専務取締役 広浦 康勝
 常務取締役 井上 始
 (ハウスウェルネスフーズ株式会社 代表取締役社長兼務)
 常務取締役 工東 正彦
 (ハウス食品株式会社 代表取締役社長兼務)
 取締役 藤井 豊明
 取締役 田口 昌男
 取締役 小池 章
 取締役相談役 小瀬 昉
 取締役(社外) 山本 邦克
 監査役 加藤 智一
 監査役 塩田 昇司
 監査役(社外) 由本 泰正
 監査役(社外) 仁瓶 眞平
 監査役(社外) 進藤 大二

株主優待制度

6月・12月の年2回、保有株式数に応じて下記の基準により当社グループの製品詰合せを「株主優待」として贈呈しております。

100株以上1,000株未満

1,000円相当の詰合せ



1,000株以上

3,000円相当の詰合せ



毎年3月末および9月末現在の株主名簿に、単元株(100株)以上、かつ2回以上連続して記載された株主さまが対象となります。

※写真は、2014年6月上旬に贈呈した株主優待製品です。

●株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行済株式総数 105,761,763株
 発行可能株式総数 391,500,000株
 株主総数 69,958名
 1単元の株式数 100株

2014年3月期配当金

	1株当たり配当金
第2四半期末	15円(前期比±0円)
期 末	20円(前期比+5円)※
年 間	35円(前期比+5円)※

※創業100周年記念配当:1株当たり5円を含む

2015年3月期予想配当金

	1株当たり配当金
第2四半期末	15円(前期比±0円)
期 末	15円(前期比-5円)
年 間	30円(前期比-5円)

●株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
 中間配当制度 あり
 定時株主総会 毎年6月開催
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 事務取扱場所 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎ 0120-782-031
 公告の方法 電子公告により、当社ホームページ <http://housefoods-group.com> に掲載して行います。ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場証券取引所 東京
 証券コード 2810
 株主さま窓口 ハウス食品グループ本社株式会社 総務部 総務課
 〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
 電話 (06)6788-1214

上場株式等の配当等に係る10%(^{所得税7%}_{住民税3%})軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となりました。また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が施行されており、その所得税額に対して2.1%が「復興特別所得税」として課税されています。

そのため、株式等の配当等も源泉所得税を徴収する際に「復興特別所得税」が併せて徴収されています。

〈上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について〉

配当等の支払開始日	2014年1月1日~2037年12月31日	2038年1月1日~
上場株式等の配当等の税率	20.315%	20%
	(内訳) 所得税 15%+※復興特別所得税 0.315% 住民税 5%	(内訳) 所得税 15% 住民税 5%

※15%×復興特別所得税率2.1%=0.315%
 (本ご案内は2014年1月時点の情報をもとに作成しています)
 その他ご留意事項等については、所轄の税務署へご確認ください。

第68期 定時株主総会のご報告

平成26年6月26日にリーガロイヤルホテル大阪で開催された当社第68期定時株主総会におきまして、次のとおり報告・決議されました。

◆ 報告事項

第68期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。

第68期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)計算書類報告の件

本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

◆ 決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案のとおり承認可決され、当期の期末配当金は、1株につき20円(普通配当15円・創業100周年記念配当5円)と決定いたしました。

第2号議案 取締役10名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、浦上 博史氏、松本 恵司氏、広浦 康勝氏、井上 始氏、工東 正彦氏、藤井 豊明氏、田口 昌男氏、小池 章氏、小瀬 昉氏、山本 邦克氏の10名が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、塩田 昇司氏が選任され、就任いたしました。

株式に関するお手続きのお問合せ先

お手続き内容	口座の種類	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式*
住所変更、単元未満株式買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更などの各種手続		口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会		三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031
支払期間経過後の配当金に関するご照会			
株式事務に関する一般的なお問合せ			

* 株券電子化実施（2009年1月5日）に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構（ほふり）に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。

ハウス食品グループ本社株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
電話 (06) 6788-1231 (大代表)
<http://housefoods-group.com>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。